

## 2014年度 ATJ体験記

氏名： M.Y.

卒業年月： 2014年3月 卒業学部・学科： 現代社会学部社会システム学科

派遣先学校名： Mount Clear College

ATJの期間： 2014年4月23日 ~ 2015年3月27日（更新： 無）

### I. ATJレポート

① ATJ参加決定から出発までの準備期間（英語、日本語・日本文化に関わる学習）

日本のことを英語で説明する本や日本語教育に関する本（日本人の知らない日本語など）を読んだりしていました。

② ATJ参加決定から出発までの準備期間（渡航手続き関係）

ビザの準備には時間がかかりました。早めに始めておいたら良かったと思います。航空券はビザを取得してから予約しました。前任のアシスタントの方と連絡を取って質問をしたり、勤務校の先生とも連絡をとっていました。

③ ATJとして経験した具体的業務

毎日それぞれのクラスに行き先生の授業のサポートをすることはもちろん、テストの採点や授業のマテリアル作り、アクティビティを考えたり日本のことについてパワーポイントを作って話したりしていました。10月・11月頃になると12年生（日本での高校3年生）はVCEという試験があり、日本語には口頭試験があるのでその練習や準備などを主にしていました。アシスタントが任される大きな仕事かと思います。

④ ATJ以外の活動

私のいた地域では日本語教育がさかんでしたので、地域の小学校で日本語のイベントがある時などアシスタントの友達と一緒にお手伝いをしたり、地域の日本語教師が集まるミーティングなどにも参加していました。また、メルボルンで行われる日本語スピーチ大会なども見に行きました。また、放課後に日本語を習いたい方のチューターもしていました。

## ⑤ ホームステイ

一年間、同じホームステイ先で過ごしました。学校の割と近くに住んでいたためバスで通勤していました。ファミリーというよりも60代の女性との二人暮らしだったので静かでリラックス出来た生活でした。

## ⑥ 健康面、治安面で注意すべきこと

天気、気温の変化が激しいので天気予報をよくチェックして、服装を調節していました。家の近くにある病院などは事前に確認しておくが良いと思います。治安は本当に良いと思います。ですが夜遅くに一人で出歩くなど、日本や他の国ですべきでない事は当然しない方がいいかと思います。

## ⑦ 長期休暇の過ごし方

最初のホリデーではエアーズロックなどノーザンテリトリーの観光地をまわるツアーに参加したり、アシスタント友達とグレートオーシャンロードを旅しました。次のホリデーでは友達とケアンズに旅行をし、12月末からの1ヶ月のホリデーでは日本から来た友達とニュージーランドへ旅行をしました。メルボルンで過ごす事も多かったです。早くから計画を立てておくといいかと思います。

## II. ATJの感想

### ① 最も楽しかったこと、最も思い出に残っていること

地域で10年生対象の日本語スピーチコンテストが毎年あります。その大会で私の勤務先の学校の生徒が優勝しもう一人の生徒も入賞することが出来ました。優勝商品は日本にある姉妹都市への2週間の旅行でした。練習も一緒に頑張りましたし、生徒の嬉しそうな顔が見ることが出来てとても嬉しかったので一番思い出に残っています。

また12年生の試験の後に生徒達からたくさんお礼を言われたこと、練習をたくさん一緒にしてきたので終わってほっとしたこともあり嬉しかったです。9月に二週間のジャパントリップもあったので帰ってきた生徒達に経験や思い出などを聞いた時、嬉しそうに話している姿も印象的でした。

最後の一週間は本当にお別れが寂しくて、たくさんの人から手紙やプレゼント、嬉しい言葉ももらって沢山泣きました。絶対忘れられないです。

## ② 辛かったこと、最も苦勞したこと

日本語の先生が不在の時に、代わりの先生は来てくれるのですがもちろんその先生は日本語が分からないので私が教えたり、クラスマネジメントをしたりするのは大変でした。また、思うように英語で説明をしたり生徒からの質問に答えることが出来ない事があったのでその時は悔しい思いをしました。

## ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

生徒達はやはり日本の学校とは違って自由にぎやかです。学校では生徒に iPad を持たせていました。生徒は急に転校していったり、新しい生徒が転校してきて一から日本語を始める事になったり、いきなり違うクラスに変わってたりします。学校は毎日 15 時半頃に終わって、日によりますが先生もすぐに帰ったり、部活などもなく 16 時には家に帰っているということがほとんどでした。

## Ⅲ. A T J 参加希望者へのアドバイス

### ① 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

パソコンは持参しました。携帯電話は SIM フリーのものをもち、オーストラリアの SIM カードを使えるようにしたら良いかと思います。日本製の日焼け止め、レインコート、携帯用充電器、携帯用の小さいシャンプー、コンディショナー、ボディソープや洗顔、化粧水などがあると旅行の時に便利かと思います。

### ② これから A T J に参加しようと思っている後輩へのアドバイス

日本の文化や習慣などを英語で説明出来るようにしておくが良いかと思います。日本食も作ると喜ばれます。メルボルンには DAISO もありますし、日本のものが十分に売られているスーパーなどたくさんあります。少々高い場合もありますが、たいていの物は買う事が出来ます。私は平日にお金を使うことがほぼなかったのでお金を貯めておいて、ホリデーの時にたくさん旅行出来ました。他ではなかなかする事の出来ない貴重な、とても素敵な楽しい一年間を過ごす事が出来ます！

#### IV. 進路

##### ① 現時点での進路（A T Jの継続、就職先など）

今のところ未定ですが、数年日本で働いてお金を貯めて、また海外に出て教育に関わっていきたいと考えています。

##### ② 将来の夢

日本語を教える事はもちろん英語を教える資格も取得し、どこかの国で二つの言語を教えるみたいです。